



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年4月25日

第3号

保護者の皆様には先週18日（金）の学習参観に多数お越しいただきありがとうございました。新しい教室で張り切って学習するお子さんの様子を見ていただけたかと思えます。また学校説明会等へのご出席もありがとうございました。今年度は学校からA3版の「早わかりガイド」もお配りしました。ご家族で目にする場所に掲示するなどして活用していただけると幸いです。

よく学びよく遊べ つばきっす！

遅咲きの八重桜も少しずつ散り始めたグラウンドに、休み時間ともなるとたくさんの子供たちが駆け出し、鬼ごっこやサッカー、鉄棒等々、思い思いに時間を過ごしています。

本校では、2限後の業間と給食後の昼休憩のほか、1・2限、3・4限、5・6限の間も10分間確保し、授業の切り替えや小休憩、次への準備がしっかりできるようにしています。その分、下校時刻が他校よりはやや遅めの時間となりますが、結果的には子供も教職員も落ち着いて一日を過ごしていることを実感しています。

また、このところ健康診断や教員の研修（出張）等の関係で給食後の昼の時間が十分にとれない日が何回かあったのですが、本校では「（清掃をカットしても）昼休憩の時間は極力確保すること」を教職員間で共通理解をしながら校時運行をしているので、限られた時間内でもそれぞれが好きなように遊んだり休憩したりできています（その分学校内がちょっと汚い…？そこは少し目をつむっています）。思い切り遊んだあとは、心も体もすっと落ち着き、次の学習や活動に入っていけるように思います。

★思い思いの場所と過ごし方で、心を解き放ちリフレッシュ！

ところで、日本には奈良時代以前から「遊び」という言い方があったそうです。私が先日参加した県の短歌大会で聴いた講演によると、日本最古の歌集『万葉集』にも「遊び」に関する歌があるそうです。また、越中の国司をしていた大伴家持（おおとものやかもち）の好きな遊びは「舟遊び（川や海の遊覧）」や「鶉飼い」だったとか（当時の越中の国は、今以上に河川や潟が多かったそうですよ）。

なるほど、そのように考えると、万葉の時代から人々は忙しい中にも時には思い切り遊びに興じることで心を解き放ち、リフレッシュをしていたのかなとも考えます。大人でもそうなのですから、ましてや子供の成長にとっても「遊び」は不可欠です。

村椿小学校は規模としては小さい学校ですが、広いグラウンドや体育館、図書室、音楽室、自然いっぱいの中庭（池の鯉にエサをやることもできます）等々、たくさんの場所やコーナーがあります。一人一人の子供がそれぞれのお気に入りの場所と過ごし方を見つけて、気の合う友達や偶然出会った仲間と、またときには一人で、気ままに過ごすことができればいいのではないのでしょうか。「よく学び、よく遊べ！」の精神で、心も体も豊かにしなやかに、そしてたくましく成長してほしいと改めて思う今日この頃です。

大型連休を前に…それぞれの「国民の祝日」の意味を知っていますか？

今年の大型連休は今週末からということになるのでしょうか。カレンダーの赤色は飛び飛びですが、なんとなく心がウキウキとしてくる今日この頃です。「国民の祝日に関する法律」では、年16回ある祝日についてそれぞれの意味があることを示しています。大型連休に関する祝日に関しては、

- 昭和の日（4月29日）：激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす。
- 憲法記念日（5月3日）：日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する。
- みどりの日（5月4日）：自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心を育む。
- こどもの日（5月5日）：こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに母に感謝する。

とあります。この頃は国旗を玄関先に掲げるお宅も少なくなりましたが、時には、こうしたそれぞれの祝日が制定された意味をお子さんと考えつつ一日を過ごすということも大切ではないでしょうか。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名（

）



4月の短歌「スタート」について紹介します

年度初めの慌ただしい時期でしたが、興味をもった子供と先生方が応募（投歌）してくれました。

- 登校でトコトコ私についてくる小さな体と大きなカバン (6年 I・A)
- しん学びなにをチャレンジしようかと やっぱりぼくは三じゅうとびだ (3年 H・S)
- いとこのけんかスタート原因はたった一つのアメの取り合い (6年 Y・H)
- はずかしいまたまちがえた七回目なれた教室また入っちゃう (4年 T・A)
- 分からない問題があることもある 無理しないことも一つのチャレンジ (6年 H・K)
- いよいよだ高学年の第一歩 一年生のお手本になる (5年 H・R)

1年生との登校、新しい目当て、進級、そして「けんか」の原因、…。さまざまなスタートのエピソードが楽しいですね。なお、今年度からランチルームでの入賞歌の発表は、作者本人による読み上げ発表としました。21日(月)、急なことで恥ずかしがりながらも、しっかりと発表してくれた6人でした。

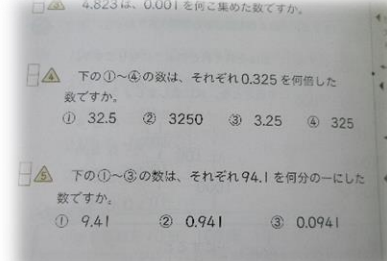
さて、1年生も少しずつ短歌に親しむ学習を始めています。今年度も全校で短歌を楽しみましょう。

シリーズ「教室におじゃまします」4月23日(水)5年算数科の巻

この日は「整数と小数のしくみをまとめよう」の終盤でした。次の日はテストをするとのことで「しっかり問題に慣れていこう」と坪野先生が呼びかけました。ある数の10倍、100倍、1000倍、…といった大きさの数は小数点の位置を移動し

てつくることを最初に復習し、その後は教科書の問題を順に解いていきました。前の時間までの内容がよく身に付いていて、子供たちはちょっと余裕の表情です。手を挙げる姿勢も堂々としていました。また教室全体に「皆で勉強しよう」という親和的な雰囲気も漂っています。皆で作りあげてきたよい文化だなと感じました。

「小数点を移動すればよい」とはいつでも、問題によっては0.0238か0.00238か間違えそうな答えもあり、子供たちはノートにマス目を書いて考えるなど、慎重に解いていました。また、形式的な操作だけを



を行うのではなく、数の大きさについての感覚を身に付けないと間違えそうな問題もありました。坪野先生とサポート役の澤田先生が一人一人の進み具合を見て回り、個別にアドバイスやヒントを与えていました。

「1限目から頭使ったなあ。放課後までもたんかもしれん！」などと冗談を言う子もいて、充実した表情で授業が終わりました。



<おまけのひとりごと>自分が小学生の頃(昭和50年前後のこと)、明治生まれの祖母がすごく年寄りに見えたものです。しかし、令和の今となっては、昭和生まれの自分こそ、子供から見てかなりの昔人間なのでしょう…。今回「国民の祝日」について取り上げながら、そういえば「昭和の日」はその昔「天皇誕生日」だったなあと思い出しました。その後、平成の時代になりしばらくは4月29日が「みどりの日」で5月4日が「国民の休日」でしたよね。「成人の日」も「敬老の日」も「体育の日」も、いつしかみんな月曜日に移動し、昔の日付は…、いえ、忘れてもいいのでしょう。そもそも昔話をしたがるのは年寄りの悪癖ともいえますからね(笑)。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()